

〈ケア〉を考える会 (第101回)

■日時：2015年 **4月5日** 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2
山科駅より東 徒歩3~4分の民家 (山添さん)

■内容

- (1) 花見散策……会場に集合～琵琶湖疎水～毘沙門堂などを散策します
(2) 学びの会・懇親会……食べながら飲みながら語り合います (持ち込み歓迎)

- ① ゲスト：**浜田 きよ子** さん (むつき庵、高齢生活研究所 代表)
- ② 100回記念誌「〈ケア〉を考える」について語る
- ③ 鷲田清一・徳永進著『ケアの宛先』(雲母書房) ⇒さわりだけでも

※山添さんご夫妻の手料理は絶品です。美味しいこと請け合い
※懇親会参加者で実費(500~1000円程度)ご負担願います

■参加申し込み、問い合わせ、メーリングリスト登録希望

⇒ 林まで：884michiya@gmail.com

★どなたでも参加できます。初参加歓迎。飛び入り参加、突然参加もあります。



■当日の大まかな予定は次のとおり
13:00 ⇒ 有志集合…会場準備等
13:30~13:45 ⇒ 会場に集合
13:45~15:00 ⇒ 散策
15:00頃~ ⇒ 学びの会・懇親会
(笑いヨガなども)
17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了
(その後で、名残惜しコーヒータイム ?)

「言葉を手がかりに考える時間をもつこと」

「確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う」

「結論はありません」

「プロセスをゆたかに」

(長田弘『なつかしい時間』より)

ひととひととの関係において重要なのは、各人が主体的にどのようにしようとしているかではなく、いつとはなしにお互いが心を開いてしまっているという事態である。

(池上哲司『傍らにあること』P.169)

「〈ケア〉を考える会」(京都) ホームページ

<http://care-kyoto.jimdo.com/>

岡山でも「〈ケア〉を考える会-岡山」が……

<http://okayama-care.jimdo.com/>

